

メーキャップ 状況	日	内容
	10月15日(水)	和歌山東南R.C. 赤井 雅哉、亀田 直紀、黒田 純一、田中 完児、豊田 英三、中江 遵義、堀岡 忠男、山本 進三、吉田 篤生
	10月17日(金)	和歌山南R.C. 加藤 裕司、角谷 芳伸、岸裏 廣澄、森川 宏昭
	10月17日(金)	和歌山中R.C. 糟谷 元春、田原 久一、古屋 光英、宮本 和佳、森川 宏昭
	10月18日(土)	第3組I.M. 赤井 雅哉、岩橋 五郎、岡野 年秀、加藤 裕司、角谷 芳伸、亀田 直紀、笹島 良雄、山東 勝彦、島 公造、瀧川 嘉彦、谷口 文利、玉置 博康、中野 久生、中村 靖男、中山 恒夫、野井 晋、藤田 昌宏、堀岡 忠男、前田 成蔵、松田 洪毅、真野 賢司、村田 昌之、森川 宏昭、八幡 建二、吉田 篤生
	10月19日(日)	地区委員長会議 藤田 昌宏
	10月20日(月)	海南東R.C. 武田 慎介
	10月22日(水)	和歌山西R.C. 中江 遵義、山本 進三
	10月25日(土)	地区ライラキーマン会議 田原 久一、野上 泰造

☺**にこにこ箱**

名前	内容
山東 勝彦さん	島公造さんの卓話楽しみにしています。
内畑 瑛造さん	10/10(金)夜、エイジシュートのお祝いの会有難うございました。ゴルフ人生に良い思い出を作ってくださいました。
中野 久生さん	本年度第1回ゴルフ会に於いて曲らずも優勝いたしました。(同組にてプレーし、ご指導いただきました前田先輩、岡野プロには生涯忘れない感謝で一杯です。)
村田 昌之さん	島公造君の卓話楽しみです。よろしくお願いします。
黒田 純一さん	少し嬉しいことが有りましたので。
中山 恒夫さん	島公造さんのグローバルな卓話を楽しみにしております。
加藤 裕司さん	先日のゴルフでチョット良い事がありました。
阪神タイガース応援団一同	
前田 成蔵さん	島公造さん会員卓話よろしく。
樫畑 友洋さん	内畑先輩エイジシュートおめでとうございます。またお心遣いありがとうございます。



おめでとうございます!

ありがとうございました

【お誕生日お祝い】
笹島 良雄さん 堀岡 忠男さん 村田 昌之さん
河本 清邦さん 寺下 浩彰さん

【本日の累計 95,190円(計13名)(お誕生日お祝い 294,000円 皆出席 55,000円 その他 1,029,508円) 累計額 1,378,508円】

本日の例会 10月30日(木)

- 臨時総会「次々期会長、次期副会長、次期理事選出方法」
- ピアノ演奏 中井 利枝さん
枯れない花(妹尾 武)
星箱(妹尾 武)

次回の例会 11月6日(木)

- 卓話「源氏物語第二話」
当クラブ会員 三毛 理一郎さん

前回の例会 10月16日(木)

- 卓話「サブプライム・ローンズ以降の世界経済状況」
当クラブ会員 島 公造さん
- ロータリーソング 島 公造 ソング委員長
「四つのテスト」
- ビジター紹介 田原 久一 親睦副委員長
和歌山R.C. 海瀬 亀太郎さん、湯川 進さん
- 出席報告 島 公造 出席委員長
会員数56名(内出席規定適用免除会員9名)

10月16日(本 日)	34名	72.3%
10月2日(メーキャップ後)	47名	100%

市内ロータリークラブ情報	クラブ	日時	内容
	和歌山城南R.C.	10月30日(木)	リラックス例会
	和歌山南R.C.	10月31日(金)	卓話「マスコミがやってきた。あなたも明日には“容疑者”に？」嶋谷 泰典会員
	和歌山中R.C.	10月31日(金)	休会
	和歌山北R.C.	11月3日(月)	祝日休会
	和歌山アゼリアR.C.	11月3日(月)	祝日休会
	和歌山R.C.	11月4日(火)	卓話「デジタル時代にNHKの目指すもの 平成21～23年度経営計画について」高野 真光会員
	和歌山西R.C.	11月5日(水)	例会変更
	和歌山東南R.C.	11月5日(水)	例会変更

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日
 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073) 424-9392 例会日 木曜日 12時30分
 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845
 会報・広報委員会 嶋 弘伸 古屋 光英 笹島 良雄 武田 慎介 吉田 篤生



2008～2009年度 国際ロータリーのテーマ

「夢をかたちに」～Make Dreams Real～

2008～2009年度 和歌山東ロータリーのテーマ

「ロータリーの魅力再発見」

国際ロータリー第2640地区

和歌山東ロータリークラブ

URL: http://www.werc.jp
E-mail: info@werc.jp

2008年 10月30日(木) 週報 / VOL.50 No.16(通巻2379)



会長報告

中山 恒夫 副会長



皆様 こんにちは。八幡会長が所用のために本日欠席でございますので、代わりに会長報告をさせていただきます。

10月も半ばを過ぎまして朝晩めっきり涼しくなってきました。そろそろインフルエンザ予防接種のシーズンとなってまいります。予防接種の効果というのはだいたい接種後2週間から4ヶ月くらい持続するといわれておりますので、接種を希望される方は11月ごろに接種されたらよろしいかと存じます。インフルエンザに関して最も危惧されておりますのが、新型インフルエンザの発生でございます。予想はできませんが発生は避けられない状況とされておまして、もし地球規模の大流行(パンデミック)が起これば、WHOの予測では最悪の場合世界で4億人が感染して700万人が亡くなるとされています。日本の場合、厚生労働省の予測では2500万人が感染し64万人が死亡するのではないかとされております。新型インフルエンザ発生への懸念としまして鳥インフルエンザがありますが幸い日本には発生例がありません。20年6月現在、世界で15カ国385名の発生があり243名が亡くなっております。このようなインフルエンザが突然変異して人から人に感染するウイルスとなれば最も恐ろしいわけでございます。昨年3月に新型インフルエンザ対策ガイドラインが専門家会議で提案されておりますが、重要なことは「早期の封じ込め」「被害の最小化」「抗インフルエンザ薬の投与」だといわれております。ワクチンの開発においては現段階では無理なようでございます。パンデミックに備えているいろいろな準備が必要ではないかと思っております。

本日は当クラブの島公造さんに「世界の経済状況」について卓話をしていただけることとなっております。新型インフルエンザのパンデミックな様相に似た世界経済ということですが、有意義なお話を拝聴できることと期待しております。

幹事報告

前田 成蔵 幹事



幹事報告をさせていただきます。今、中山先生からインフルエンザのお話でしたが、朝テレビを見ておますと「麻疹(はしか)」のことを放送しておまして、最近10代～20代になってから麻疹にかかる方が多くなってきたということです。赤ちゃんのときに麻疹の予防接種をしていない方が増えてきたのではないかと。20歳を過ぎて麻疹になりますと、テレビでは脳炎になった方がございまして昏睡状態で一ヶ月以上経ったというようなことも放送しておりました。皆様方も小さいお子様のおられる方、お孫さんのおられる方も、1歳までに一度接種していただいて幼稚園の前にもう一回接種しなさいと放送してございましたので、宜しくお願いします。

- ・ 10月5日、10月12日 サンケイ新聞「第2640地区の挑戦」記事……………配布
- ・ 10月18日 11:00 県民文化会館 IMのご案内
- ・ 10月23日 当クラブ 休会
- ・ 10月30日 臨時総会のお知らせ

委員会報告

50周年記念実行委員会

記念ゴルフ担当 岡野 年秀 会員



記念ゴルフですが、参加していただく方には組み合わせ表をお配りしております。多数のご参加本当にありがとうございます。10月25日に開催の運びとなりました。他のクラブの方も参加されますが、当クラブの方は受付などのお世話の都合上、全員8:00までには会場にお集まりいただきたいと思っております。

なお、レギュラー優勝、シニア優勝の2つの優勝者がありますが、当クラブの方が優勝された場合は繰り下げて他クラブの方が優勝となります。その旨我々のクラブの方はご了承をお願いしたいと思います。またレギュラー優勝、シニア優勝が同じ方の場合、その方一人に両方の賞品をお渡しするという事になっております。

親睦委員会

野上 泰造 委員長



親睦よりご案内申し上げます。皆様のお手元にお配りしております「秋の親睦家族会」のご案内がございます。11月16日(日)倉敷 大原美術館を訪ねようと考えております。小学生以下の方は無料でございます。多くのご参加をお願いいたします。

卓話

サブプライム・ローン以降の世界経済状況

島 公造 会員



こんにちは。僕の卓話についてニコニコを入れていただいております。「世界の経済状況」ということですが、自分自身の日記から抜粋しております。

もともとリーマンブラザーズの破綻によって世界の経済が大騒ぎになりました。これはサブプライムローンを証券化した商品が売れなくなって値下がりし、在庫を大量に抱えてしまったというのが倒産の原因です。メリルリンチも同じです。

サブプライムローンとは主に所得の低い人を対象にした米国の住宅ローンです。プライムではないということでサブプライムにしたらしいです。実際に僕は8月にこの住宅を見てきました。エスパニックや黒人の人が多いのですが、日雇労働者のような人たちが金利10%以上の住宅を買っています。日雇労働者を解雇されたら支払いできないという状態の人たちが買っています。家も見ましたが、日本の建売よりはるかに大きいです。それで1500万円ぐらいらしいです。一部屋20畳ぐらいで何部屋もあって、それを10%以上の高金利なもので、たった8回ローンを払ってもうアウトになったような人たちがゴロゴロいます。そんなこと自体がもう博打以前の問題なんですね。こういうことでは絶対にダメというのは一目見ただけで確信を持って帰ってきました。

アメリカの金融機関がこのサブプライムの影響を受けて、債権を小口にして投資家に売って行って、証券化がドンドン進んで世界中に販売し、雪ダルマ式にしてしまったものだから、負債は元値以上になってしまったわけです。面白いことに素人が買ったのではなく、世界各国の金融機関が買っています。そしてアメリカにはビッグ5と言われる金融機関専門の証券銀行というものがあります。アメリカ独特のシステムで証券銀行はお金を預かたりできません。証券会社などを対象に専門にお金を貸す銀行です。それと保険会社が徹底的にサブプライムローンを買いました。その結果として、ヨーロッパだけで150兆円というお金を補填しています。アメリカも75兆円の補填が上院下院で可決されました。先週からこの補填をはじめ、今週月曜日にマーケットは史上最高の上げ幅といいますが、下げ幅はそれより大きかったですから元値までもちろん戻っていません。その反動で今日も少し下がっています。これからは小刻みに動いていくと思っておりますが、希望的観測もありますがやや上向きになると思っています。

サブプライムローンというのは10%もの高金利で支払不能になりやすい人たちに貸しているのですが、アメリカの全住宅産業のローンの20%なんです。その20%でこれだけの大事件になっています。あとの80%のローンは健康状態です。

低所得者層にタダで家を配ってあげたほうが安くついたという結果が出ています。それぐらい仮分数の頭デッカチの幽霊のお金なんです。なぜなら最近「実体経済」という言葉がドンドン出てきました。実体経済とは何かというと我々

のやっていることです。例えば物を作って売る、仕入れて売る、というビジネスとして当たり前の話です。世界経済をグチャグチャにした君達の数字は何だ。要するにオバケの数字なんですね。コンピュータをたたいて何千億円を買った、売ったとやっているだけで膨らましてしまって、それでそれがアウトになったら実体経済の株まで共連れにして下げてしまって、その企業の付加価値、実績、資産を目減りさせてしまっています。一週間で日本だけで20兆円ダウンするといわれています。

実体経済ではない、そういうお金はいったい何のお金だったのか…。新聞に載っていないですね。

アメリカはこの前、下院で補填可決が遅くなったというの、そのオバケのお金、博打のお金のためになぜ一般市民の血税で埋めるのかということでした。実体経済を救うために補填するというならわかりますが…。

はじめにこれを行った人は、損失分とは申しませんが無茶苦茶儲けた人がいるはず。それは全く表には出てきません。実際にリーマンブラザーズが悪いのか、サブプライムローンというのを作った人が悪いのか…。そういうものを作っている会社の社長たるや、50億円もの年収を取って、新入社員大学出で1億円取っていたという話もあります。もちろんこの破綻によってなくなりましたが、それまではこんな無茶なことをしていた。我々、まじめにコツコツやってきた一般の人間から見るとアホみたいな話です。

ラスベガスなどなら博打です。ところがネクタイを締めた普通の紳士なら、ラスベガスの100倍や1000倍のお金が動いても博打にはならない。実際にラスベガスでいくら負けても世界経済が動揺するようなことは一切ありません。今回は世界経済を動かすだけの大きな問題で、対岸の火事ではございません。日本にも余波は来ています。

輸出、貿易産業の場合、ドルが100円になると大変です。ヨーロッパ、東南アジア、中国、日本は生産国家で、アメリカは生産国家ではありませんから、競争するとき日本はユーロを意識します。

アメリカのビッグ3も真赤々です。1社に2兆5000億ずつ、3社にアメリカが補填しました。補填されたから解雇もせずにいけるかということこれはまだ(?)です。なぜなら今世界中が小型車化しています。ありがたいことに日本のトヨタなどは生産ダウンはするものの、性能がよいので強いです。アメリカでもだんだんアメ車と韓国車が減っていました。三菱やダイハツ車も結構目に付きました。高級車はトヨタ、日産、HONDAで日本の車が目立っています。近未来もビッグ3はヤバイと思います。

部品生産が海外にシフトしていることもあって、日本でも自動車部品を専門にやっているところはサブプライムローンの余波を受けています。

三菱UFJなどはアメリカ第二位のモルガンスタンレーの増資引受に協力し9000億円も出しています。投資関係の企業は今までアメリカが先を行き、日本は遅れていましたので、今回日本はこれをチャンスとして投資していますが、果たして利益が生まれるのか…。バブルのとき日本の企業は、エンパイアステートビルやハリウッドを買ったりしていましたが、何かの操作で5分の1ぐらいにされてしまって皆これを手を離しています。その5分の4はユダヤに入っています。今回の核融合のようなものすごいお金のアップダウンに日本の金融業界がノコノコ出て行っても、僕はブラックホールに飲み込まれるのではないかなと思っています。それぞれ金融のプロがすることですからそこでどうなっても関係ないのですが、その余波のちょっとした波が我々日本の産業にまともに影響するという事だけ、皆さん頭においてください。

話は変わりますが、アメリカの企業の考え方について、アメリカの企業は株主のものという原則です。規模と利益を最も重視して自動車のビッグ3、メガバンク、いずれも巨大化した米国の企業をさした言葉です。しかし現在の米国の自動車も金融機関も前述のように不振です。アメリカが補填していますが、それでも健康な状態に戻るかどうかは(?)です。

パナソニック(松下)は、コンピュータを一本化するということですが、世界中に社内コンピュータが25万台あります。日本場合はマニュアル化されてきっちり末端まで管理されています。ところがアメリカのビッグ企業は末端まで管理が行き届かないんですね。そしてそれゆえにこのようなトラブルが出てきて、破裂すると物凄い問題、社会問題になるわけなんです。それでも自分の国だけならいいのですが、他の国に迷惑をかけるようなところまで膨張してしまっているのです。

日本企業は、大きくても小回りの利くやり方が特徴です。コンピュータだけで顔も見ずにやってもダメで、そんなアメリカの真似をしていてもいけません。コンピュータ化されている人間の心も油断できません。最近の犯罪もそうですね。やはり何かの間違いだと思っております。

昨日のテレビで評論家が言いましたが、商品券を作ってそれを売って膨張させて、極論はお金持ちがお金を回しているだけで、一般市民には全く関係のない話です。自由という名の下に、資本主義の究極のところだと思っておりますが、僕が言いたいのは、商売というのはまじめにコツコツやって努力して人よりがんばったものが潤うというのが道理であって、楽してコンピュータで一発儲かって……ではダメだと思っております。そういう意味ではホリエモンや村上ファンドがあのようにならなくて、子供たちや若者にとってはよかったです。一足飛びに高いところを望むのではなく、基本に忠実に、一段ずつやっていきたいと思っております。